

地盤品質判定士通信 No.37

地盤品質判定士，地盤品質判定士補，ならびに判定士協議会関係者の皆様へ

『地盤品質判定士通信No.35 寄稿：欠陥住宅全国ネット第39回大会に参加して』に対して、協議会事務局へ感想が寄せられました。貴重なご意見ですので、ご本人の承諾の上、判定士通信としてお届けさせていただきます。

なお、地盤品質判定士通信は、関係者の情報交換の場です。地盤品質判定士の方々からの寄稿を歓迎致します。

2015年12月1日(火)
地盤品質判定士協議会 事務局

事務局様

大変興味深く読ませていただきました。
杭問題に限らず、品質不良に対するチェック体制の不備が様々な分野で問われています。
品質管理は、昨今複雑多岐に渡り、行政には人的面でこれらをチェックできる技術力や十分な体制はありません。
実際、どこにチェックを頼んでいいのかわからない状況です。
別会社にセカンドオピニオン的にチェックしてもらうのがせいぜいの現状だと思われます。
そのため、何らかの公益性の高い調査機関が、今後必要になってくると思われます。
協議会や当学会が、そういったチェックを積極的に会員活動に取り込めるのかどうか、議論してみてもどうかと思います。

一会員をつぶやきごとですみません。

2015年11月25日
地盤品質判定士 T. M (福井県, 51歳)
〔行政職, 技術士(建設部門:土質及び基礎),〕